

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・社会〉

特別研修員 社会 木村 友彦（小学校教諭）

単元名 『3人の武将と天下統一』（第6学年） 全7時間計画

## 単元のねらい

戦国時代から江戸幕府のはじまりまでの社会の変化について、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや政策を通して戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。

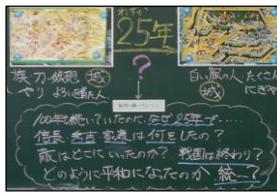
## 単元構想の意図

本単元では、室町時代末期から江戸時代にかけての世の中の変化を捉え、それに関わった人々の思いや願いについて理解させるために、つかむ過程で児童にとって驚きのある資料を提示し、そこから湧き出る疑問や調べたいことを話し合い単元の課題を設定します。追究する過程では様々な資料の読み取りを行わせるとともに、クラス全体で共有しながら構造的に板書に整理し、具体的な知識を獲得させていきます。まとめる過程では児童一人一人が「3人の武将の中で誰が一番影響を与えたか」を考えながら単元全体を振り返り、友達と意見交流する中で「一人に絞るのは難しい」という実感を共有し、単元の課題の結論が導き出せるように構成しました。

### 主な学習活動

#### 1. 単元の課題を把握する

- 長篠合戦図屏風と江戸城図屏風を比較したり、年表を見て気付いたことを話し合ったりすることを通して単元の課題を立てる。

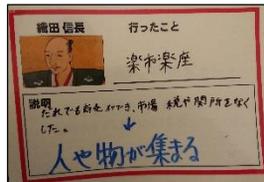


織田信長・豊臣秀吉・徳川家康はどのようにして戦国の世を統一していったのだろう。

- 3人の武将の人物年表などから戦国の世が統一された様子を読み取る活動を通して、単元の課題について予想し、学習計画を立てる。

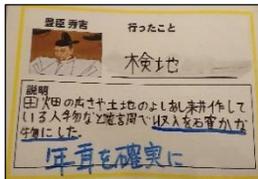
#### 2. 「単元の課題」の解決に向け、単位時間ごとの追究をする

- 織田信長について調べ、学習カードに整理することを通して、信長の行った業績を理解する。



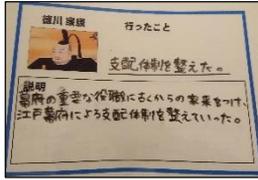
商業・工業を盛んに

- 豊臣秀吉について調べ、学習カードに整理することを通して、秀吉の行った業績を理解する。



農民を支配する仕組み

- 徳川家康について調べ、学習カードに整理することを通して、家康の行った業績を理解する。



武士を支配する仕組み

#### 3. 単元の課題についてまとめる

平和で安定した世の中

- 学習してきたことを基に3人の武将の行ってきたことについて意見交流し、単元の課題に対する結論を考える。
- 「天下統一に一番影響を与えたのは誰だ」を考える活動を通して単元の課題の答えをまとめる。

3人の武将、誰か一人でもいなかったら安定した世の中にはならなかった。それぞれの働きによって、戦国の世を統一し武士による平和で安定した世の中になったことが分かった。

### ICTの活用

ノートパソコンと大型テレビをつなぎ、いつでも資料や年表を拡大して示せるようにしておく。



### 単元への興味・関心をもたせる

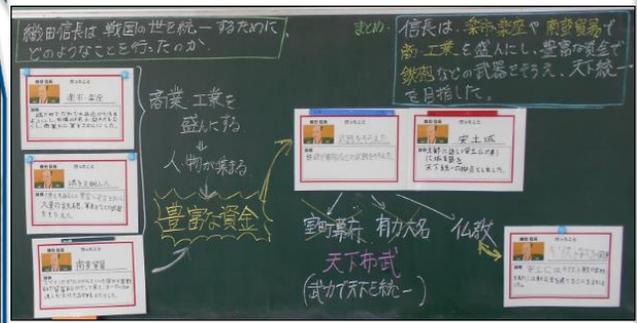
課題意識を醸成できるように、長く続いた戦乱が「たった25年」で平和になったという、数字から驚きが生まれる資料を提示し、調べたいことを話し合わせる。

### 学びの見通しをもたせる

単元の見通しがもてるように資料や年表と既有的の知識を照らし合わせたり、複数の資料同士を比較・関連付けて話し合わせたりして予想を基に学習計画を立てさせる。

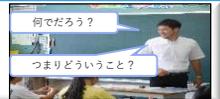
### 構造的な板書

情報を分類・整理しやすいように児童の話し合いの内容を線や矢印を活用して構造的に板書にまとめていく。



### 考えたことを話し合う

児童の発言について問い返したり、新たな視点を投げかけたりして多面的・多角的に考えさせる。



### 単元の結論を導く工夫

根拠を明確にしなが一人一人が考えた結論を伝え合う活動を行う。その結論の根拠の妥当性を考えさせていく中で、誰が一番という質問に対して、意見がまとまりにくいことを確認し、3人の武将それぞれの働きによって平和で安定した世の中が実現したという、単元のまとめを導く。

3人の武将と天下統一			
武将	行ったこと	結果	評価
織田信長	軍事	大坂で毛利と戦い、関所を無効にした。	○
	商業	スズ・銅・鉛を採り、武器を造った。	△
	政治	京都に近い安土に城を作った。	○
	外交	豊臣秀吉を安土に召寄せ、豊臣の資金を得た。	○
	外交	毛利と戦って、豊臣の資金を得た。	○
豊臣秀吉	政治	大坂に城を築いた。	△
	外交	信長を討ち、豊臣の資金を得た。	○
	外交	徳川家康を倒した。	○
	外交	徳川家康を倒した。	○
徳川家康	政治	大坂で毛利と戦い、関所を無効にした。	○
	外交	豊臣秀吉を倒した。	○
	外交	豊臣秀吉を倒した。	○
	外交	豊臣秀吉を倒した。	○

過程

つかむ(2)

追究する(3)

まとめる(2)

指導例：『3人の武将と天下統一』（第6学年 第1時）

1 本時のめあてをつかむ。

○長篠の戦いや江戸城図屏風、信長、秀吉、家康らの肖像画を見て話し合う。

T：これは何の資料だか分かりますか。

S：1枚目は戦っています。2枚目はどこか有名な城だと思います。

S：人物は分かります。織田信長です。

S：その隣は、確か豊臣秀吉と徳川家康だったと思います。

T：今日から戦国の世の学習をします。単元の始めは何をしますか。

S：資料を見て単元の課題を立てます。

〈めあて〉資料を見て気付いたことを話し合い、単元の課題を立てよう。

2 本単元の社会的事象に関わる資料を基に、一人一人が疑問や調べたいことを考える。

○長篠合戦図屏風と江戸城図屏風について比較して考える。

S：鎧を着て鉄砲や槍を持って戦っています。何の戦いなんだろう。

S：もう一つの絵はにぎやかな街の感じ。どこの城なんだろう。

S：ずいぶんと様子が違うのが分かります。

T：お城の周りの様子を比べてみるとどうですか？

S：1枚目は戦争していますが、2枚目は平和な雰囲気です。

S：きっと3人の人物が関係しているのだと思います。

○長篠合戦と江戸幕府を年表で確認する。

T：2つの屏風図の間は何年くらいかかったと思いますか？年表で確認してみましょう

S：あれ？年表で確認すると25年しか経っていません。

3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことを共有する。

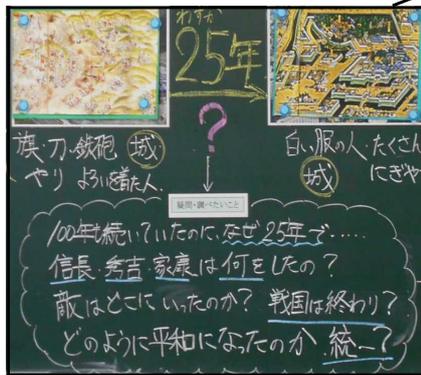
T：資料や年表からどのような疑問が考えられましたか？

S：なぜ25年で戦国の世は終わったのですか？

S：信長・秀吉・家康は何をしたのですか？

S：戦っていた敵はどこにいったのですか？

S：どのようにして平和になっていったのですか？



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○今日学んだことを確認するとともに、単元の課題を言葉にまとめ記述する。

【単元の課題】織田信長・豊臣秀吉・徳川家康はどのようにして戦国の世を統一していったのだろう。

○習得した知識や友達の意見などを記述するように促し、本時の振り返りを行う。

S：長かった戦国の世が短期間で統一されたのは驚きました。まずは信長の戦い方や政策について調べたいと思いました。

指導のポイント

めあての設定

○社会的事象との出会いの場面で児童の課題意識を高めるために、効果的な資料を精選するとともに既有知識を問いかける。

課題意識が高まる資料

○複数の資料を比較・関連付けながら観察させることで、「人々の様子・建物や景色の違い」などから時期や様子の変化に視点が当てられるようにする。その際ICTを活用して拡大したり、見る範囲を限定したりして視点を明確にする。

疑問や調べたいことの共有

○児童の疑問や調べたいことについての発言を可視化し、キーワードとして共有することで、児童が「単元の課題」づくりをできるようにする。

「単元の課題」の設定

○歴史上の事実や順序、3人の人物の働きを追究するために「どのように」という言葉を使って単元の課題を設定する。

本時の振り返りの視点

○習得した知識や参考になった友達の意見、次時に調べてみたいことを記述させることで本時の振り返りを行う。

指導例：『3人の武将と天下統一』（第6学年 第3時）

1 本時のめあてをつかむ。

- 学習計画を振り返り、信長の業績について調べることを確認する。
- T：信長が行ったことのキーワードはどんなものがあったでしょう。
- S：楽市楽座です。 S：南蛮貿易もそうだと思います。

〈めあて〉 織田信長は戦国の世を統一するためにどのようなことを行ったのだろう。

2 解決に必要な情報を集め・読み取る。

- 教科書や資料集を使い信長の業績について調べ、学習カードにまとめる。



- 班ごとに集まって調べた内容を共有し、補完・修正する。

- S：南蛮貿易はヨーロッパの中でも、スペインとポルトガルが相手なんだね。
- S：宣教師って書いてあったからキリスト教とも関わりがあると思うよ。



3 整理した事実を基に考察する。

- T：楽市楽座、南蛮貿易 塚に共通することは何でしょう。
- S：楽市楽座で自由に商売ができるようになりました。
- S：塚は南蛮貿易で栄えた町でした。
- S：どれも商売に関係していると思います。
- S：自由に商売ができて外国から新しい物や技術がたくさん入ってきたから、商業とか工業が盛んになったのではないですか。
- T：商業や工業が発達すると町の様子はどうなったのでしょうか。
- S：人や物が集まってくるから、にぎやかになったと思います。
- T：商業が発達して集まった豊富な資金を信長はどうしたのでしょうか。
- S：そのお金を使って鉄砲などの新しい武器を揃えていきました。
- S：長篠の戦いも鉄砲をたくさん使って勝つことができました。
- S：武力で室町幕府や他の大名を滅ぼして天下統一していきました。
- S：天下統一の拠点になったのが安土城でした。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 板書のキーワードを基に本時のまとめを書く。

信長は楽市楽座や南蛮貿易で商・工業を盛んにし、豊富な資金で鉄砲などの武器をそろえ、天下統一を目指した。

- 習得した知識や友達の意見などを記述するとともに、本時の振り返りを行う。

- S：信長は商業や工業を発展させてお金をたくさん手に入れた。そのお金で鉄砲をたくさん買い、長篠の戦いで勝ったり、室町幕府を滅ぼしたりするなどして武力で天下統一を目指していった。

指導のポイント

本時のめあてをつかむ

- 学習計画や前時までの予想を振り返ることで、本時の解決方法について見通しをもたせる。

情報をまとめやすくする工夫

- 追究したことをまとめやすくするために、「行ったこと」と「その説明」を簡潔に記せる学習カードを用意しておく。また、全体で共有するために、それを拡大し、ラミネートしたものを用意しておく。

構造的な板書

- 学習カード同士を矢印や線でつないだり、色を工夫したりして、事象同士や単元の課題との関係をまとめていく。

事実を基に考察する

- 児童が調べた事実に対してその特色や意味を問い返したり、新たな視点を示したりすることで、社会的事象を多面的・多角的に考えられるようにする。

児童の発言を生かしたまとめ

- 追究した社会的事象の特色や意味についての一般化を図ることで、「具体的な事実に関する知識」について学級全体で共有できるようにする。

本時の振り返り

- 自身の学びを自覚できるように、本時で学んだことを自分の言葉で表現させる。

指導例：『3人の武将と天下統一』（第6学年 第7時）

1 本時のめあてをつかむ。

○単元の課題や学習計画を確認するとともに、追究する過程の各単位時間で解決してきたこと振り返る。

〈めあて〉 単元の課題に対する結論をまとめよう。

2 学習してきたことを基に、一人一人が「単元の課題」に対する結論を考える。

○3人の武将が行った政策をまとめたワークシートを基に考察する。

S：信長は商人、秀吉は農民、家康は武士に対する政策を進めました。

S：信長はキリスト教や貿易に対して自由な政策、秀吉や家康は制限する政策をしていました。

武将	出身地	業績	評価
織田信長	美濃国	誰でも敵対できるよにしました。関原を勝った。	○
豊臣秀吉	尾張国	スペイン・ポルトガルと貿易した。	△
徳川家康	三河国	京都に近い安土に城を作った。	△
徳川家康	三河国	商業都市を築いて豊富な資金を得た。	○
徳川家康	三河国	ヨーロッパから伝わったキリスト教を保護した。	△
豊臣秀吉	尾張国	士農工商に階級を定め、商人を厳しくした。	○
徳川家康	三河国	農民が税を納め、武士を養った。	○
徳川家康	三河国	大船に城を築いた。	△
徳川家康	三河国	信長の敵討ちを、後継した。	△
徳川家康	三河国	中国をめぐって大船を造らせた。	×
徳川家康	三河国	大船を造らせた。	△
徳川家康	三河国	信長に反対する大名たちを討った。	○
徳川家康	三河国	江戸に幕府を置いて有事になった。	○
徳川家康	三河国	比叟にあって、秀吉の死を免れた。	△
徳川家康	三河国	信長からの脅威に戦せざるを得なかった。	○

3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

○「天下統一に一番影響を与えたのは誰だ」という問題を考えていく中で「単元の課題」に対する結論を考える。

T：3人の中で天下統一に一番影響を与えたのは誰でしょう。

S：やっぱり最終的に天下統一を成し遂げた家康だと思います。

S：でも家康が天下を取った時は、すでに秀吉が武士が農民を支配する仕組みを整えていました。だから秀吉が一番影響を与えたと言えると思います。

S：そもそも秀吉は信長の部下だったのだから信長が活躍していなければ秀吉は活躍できなかったはず。そう考えると信長が一番だと思います。

S：誰が『一番』って聞かれると難しいです。

S：3人がリレーのようにつないでいったので、誰か一人でも欠けたら天下統一はできなかったのではないのでしょうか。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○板書で整理された意見を基に、単元全体のまとめを考える。

信長・秀吉・家康それぞれの働きによって、天下統一をすることができた。

○社会的事象について何を学んだかという視点で単元全体の振り返りをする。

S：3人の武将がそれぞれやったことを受け継いだ結果、天下統一することができたことが分かった。

S：3人のうち誰か1人でもいなかったら、天下統一はできなかったのではないかと思います。

指導のポイント

本時の見通しをもたせる

○本時の見通しをもつために、社会科の学習における本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認する。

概念等の知識を導きやすくする工夫

○各単位時間で学習した具体的知識を振り返りやすく一覧表にまとめて自分なりに評価させることで、結論を一般化しやすくする。

社会的事象を多面的・多角的に捉えるための整理

○3人の業績をホワイトボードにまとめたものを影響の大きい順に並べ替えながら話し合うことで、一人一人の業績を多面的・多角的に捉えられるようにする。

「答えるのが難しい」と思う理由を考える

○話し合った結論や、根拠の妥当性の共通点や相違点などを考えることを通して、単元の課題に対する結論を導く。

単元全体の振り返り

○学びの価値付けをするために一人一人が振り返る時間を確保するとともに学級内で共有できるようにする。

# 社会科学習指導案

平成30年6月 第6学年 指導者 木村 友彦

## I 単元名 3人の武将と天下統一

## II 学習指導要領上の位置付け

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(カ) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

## III 目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

年表やその他の資料を活用して、戦国の世の中が統一されるまでの様子と、それに関わる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きについて必要な情報を集め、3人の武将の働きによって武士による政治が安定したことを理解している。

イ (思考力、判断力、表現力等)

戦国の世を統一するために3人の武将がどのようなことを行ったのか調べ、比較・関連・総合させながら3人の武将の願いや働き、意味を考え、適切な言葉で表現している。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

戦国の世の統一に関わる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや代表的な政策に関心を持ち、意欲的に調べている。

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／7）

- ねらい 長篠合戦図屏風と江戸城図屏風を比較したり、年表を見て気付いたことを話し合ったりする活動を通して、単元の課題の解決への意欲を高めることができるようにする。
- 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

### 1 本時のめあてをつかむ。（5分）

- 長篠合戦場所と江戸城のあった場所の現在の写真（長篠設楽原PA・皇居付近）を提示する。
- 二つの屏風（長篠合戦図屏風・江戸城図屏風）を重ねて提示し、本時は単元の課題の設定を行うことを伝える。

めあて 資料を見て気付いたことを話し合い、単元の課題を立てよう。

### 2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（15分）

- 最初に長篠合戦図屏風を見て気付いたことを話し合わせる。
- 次に江戸城図屏風を見て気付いたことを話し合わせる。
- 二つの屏風を「城の周りの様子」という視点で比較させ、時間の隔たりについて予想させる。

### 3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（15分）

- 長篠の戦いから江戸幕府が開かれるまでの期間が、わずか25年間であることを共有する。
- 戦国の世の中とその統一について疑問に思ったことや調べたいことを話し合わせ板書にまとめる。

戦国の世の中とその統一について関心をもち、気付いたことを発表している。

< 発言・ワークシート（1） >

### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）

- 板書を基に、「単元の課題」を言葉としてまとめる。

織田信長・豊臣秀吉・徳川家康はどのようにして戦国の世を統一していったのだろう。

☆たった25年の間で様子が全然違うのに驚いた。どんな変化があったのだろう。3人の武将が関係しているのだろうか。

## V 本時の展開 (3/7)

- ねらい 織田信長について調べ、学習カードに整理する活動を通して、信長が行ったことを理解することができるようにする。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</b> ○学習計画を確認するように促し、本時は信長の業績について調べることを確認する。 ○年表に出てきた信長の業績を中心に教科書や資料集で調べるよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 織田信長は戦国の世を統一するためにどのようなことを行ったのだろう。</div>			
<b>2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。(15分)</b> ○教科書や資料集を使い信長の行った政策について調べ、学習カードにまとめさせる。 ○班ごとに集まって信長の業績について調べた内容を共有し、補完・修正させる。			
<b>3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。(20分)</b> ○班ごとの話合いの結果を発表するよう促すとともに、その内容に新たな視点を加えて問い返すことで一つの政策を多面的・多角的に捉えさせる。 ○掲示用の大きめな学習カードに児童の発言を基に信長の業績を記入し、板書を整理していく。 なお、そのカードは武将ごとに色分けし、視覚的に捉えやすくする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">織田信長は戦国の世を統一するために、楽市楽座や南蛮貿易で商工業を盛んにし、豊富な資金を基に大量の鉄砲などの武器を揃えたことが分かる。&lt;ノート・発言 (4)&gt;</div>			
<b>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(5分)</b> ○楽市楽座と南蛮貿易が共に商・工業の発展につながったという共通点を押さえる。 ○児童の言葉を基に本時のまとめを板書する。 ☆信長は商・工業を盛んにして資金を集め、鉄砲などの武器を揃え、天下統一を進めたんだ。			

## V 本時の展開（7／7）

1 ねらい 学級全体で単元の課題に対する結論を話し合う活動を通して、単元全体をまとめることができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○「だれが一番の功労者？」を考える活動を通して、単元の課題に対する結論をまとめることを確認する。		
めあて 単元の課題に対する結論をまとめよう。			
2 一人一人が、学習してきたことを基に、「単元の課題」に対する結論を考える。（10分）	○クラス全体の「1番の功労者」の結果について予想させる。 ○予想を発表させる中で、その根拠を明らかにしながら発言させる。 ○掲示用の学習カードを黒板で動かしつつ、ランキングの理由を説明させる。 ○同じ業績であっても、個人の受け止め方に差があることを肯定的に捉えさせる。		
3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。（20分）	○話し合ったことを基に、「分かったこと」「気付いたこと」を問い掛ける。 ○結論が出なかった班の意見を板書で整理し、単元全体のまとめを導く。		
3人の武将の業績について話し合ったことをもとに再構成し、単元の課題に対するまとめをすることができる。 <発言・ノート（4）>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○ワークシートに単元の課題に対する結論を書かせる。 ☆3人の武将、誰か一人でもいなかったら安定した世の中にはならなかった。それぞれの働きによって、戦国の世を統一武士による平和で安定した世の中になったことが分かった。		

指導計画 社会科 第6学年 単元名「3人の武将と天下統一」(全7時間計画)

目標	<p>社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>ア (知識及び技能) 年表やその他の資料を活用して、戦国の世の中が統一されるまでの様子と、それに関わる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きについて必要な情報を集め、3人の武将の働きによって武士による政治が安定したことを理解している。</p> <p>イ (思考力、判断力、表現力等) 戦国の世を統一するために3人の武将がどのようなことを行ったのか調べ、比較・関連・総合させながら3人の武将の願いや働き、意味を考え、適切な言葉で表現している。</p> <p>ウ (学びに向かう力、人間性等) 戦国の世の統一に関わる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや代表的な政策に関心をもち、意欲的に調べている。</p>		
評価規準	<p>(1) 戦国の世の統一に関わる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや代表的な政策に関心をもち、意欲的に調べている。</p> <p>(2) 戦国の世を統一するために3人の武将がどのようなことを行ったのか考え、表現している。調べたことを比較・関連・総合させながら3人の武将の願いや働き、政策の意味を考え、適切な言葉で表現している。</p> <p>(3) 戦国の世の統一に関わる3人の武将の働きや代表的な文化遺産について、必要な情報を集め読み取っている。調べたことをワークシートやノートにまとめている。</p> <p>(4) 3人の武将の働きによって戦国の世が統一され、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解している。</p>		
過程	時間	☆振り返り (意識)	◇評価項目 <方法・観点>
つかむ	1	☆たった25年の間で様子が全然違うのに驚いた。どんな変化があったのだろうか。3人の武将が関係しているのだろうか。	◇戦国の世の中と、その統一について関心をもち、気付いたことを発表している。 (発言・ワークシート(1))
<p>○ねらい めあて</p> <p>資料を見て気付いたことを話し合い、単元の課題を立てよう。</p> <p>【単元の課題】 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康はどのようにして戦国の世を統一していったのだろうか。</p>			
	2	☆3人の武将の活躍をもっと知りたいな。どんなことをしたのか調べてみたい。	◇単元の課題に対する予想をし、学習への見通しをもつことができる。 (発言・ワークシート(3))
追究する	3	☆信長は商・工業を盛んにして資金を集め、鉄砲などの武器を揃え、天下統一を進めたことが分かった。	◇織田信長は戦国の世を統一するために、楽市楽座や南蛮貿易で商工業を盛んにし、豊富な資金を元に大量の鉄砲などの武器を揃えたことが分かる。 (ノート・発言(4))
	4	☆秀吉は明智光秀を破り、検地や刀狩りなど農民に向けた政策を行っていったことが分かった。また大阪城を築き、朝鮮に出兵したことが分かった。	◇豊臣秀吉は検地や刀狩りによって武士と農民・町人の身分を区別し、天下統一を果たしたことや、大阪城を築いたこと、朝鮮出兵をしたことなどが分かる。 (発言・ノート(4))
	5	☆家康は関ヶ原の合戦で勝ち征夷大将軍に任じられて江戸幕府を開いた。大阪の陣で豊臣家を滅ぼし、一国一城令や大名の再配置など、武士に向けた政策を行ったことが分かった。	◇徳川家康は関ヶ原の戦いに勝利し、江戸に幕府を開いてその基礎を固めるとともに、豊臣氏を滅ぼして天下統一を果たしたことが分かる。 (発言・ノート(4))
まとめ	6	☆統一に向けての業績では信長は商人に向けた政策、秀吉は農民に向けた政策、家康は武士に向けた政策に特色があることに気付いた。	◇調べたことを比較・関連・総合しながら、3人の武将の働きについて考え、適切な言葉で表現している。 (発言・ノート(2))
<p>○学習してきたことを基に3人の武将の行ってきたことについて意見交流する活動を通して一人一人が単元の課題に対する結論を考えることができるようにする。</p> <p>単元の課題に対する結論を考えよう。</p>			

7	<p>○学級全体で単元の課題に対する結論を話し合う活動を通して、単元全体をまとめることができるようにする。</p> <div data-bbox="285 277 919 353" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>単元の課題に対する結論をまとめよう。</p></div>	<p>☆3人の武将、誰か一人でもいなかったら安定した世の中にはならなかった。それぞれの働きによって、戦国の世を統一し武士による平和で安定した世の中になったことが分かった。</p>	<p>◇3人の武将が行ったことについて話し合ったことを基に、3人の業績を再構成し、単元の課題に対するまとめをすることができる。 (発言・ノート(4))</p>
---	---	---	---